

おひさま岡町保育園自己評価表

2023年度 評価責任者：園長 福井 茂

	今年度の活動	評価・反省 課題
施設管理	<p>開園して23年。中長期計画に基づき、施設改修等を行った。本園の電灯をLED化、空調機器（換気機能付き）を更新した。また、ガス点検では給湯器の不具合をみつけ、1台更新した。</p> <p>ロフトを活用し、教材庫を整備した。</p>	<p>電灯のLED化や空調の更新は3社以上の見積もりをとり、十分に検討し工事を行った。20年以上経過し、日々の施設点検の重要性を感じ、次年度以降も継続していく。</p>
人事管理	<p>園長・副主任3名で運営の中心を担い、現場より4名参加し計8名で運営会議を行い方針や調整を行ってきた。新任職員面談は副主任や専門リーダーが担うなど、人材育成につながった。退職者は3月末正規職員1名だけで、働き続けられる職場づくりに取り組めた。</p>	<p>中長期を見据え、業務内容や役割について確認し、職員一人ひとりの意識の向上に努めた。面談も年2回実施し、職員のおもいや現状を把握する大切さ、まとめの会議での実践を語りあいは、職員相互の理解につながり、次年度も意識していく。</p>
保護者対応	<p>保育内容の充実を掲げ、食育・身体づくり・表現の3本柱で保育に取り組んだ。園外保育の充実により、田植えや稲刈り、収穫体験を通し、クッキング等の食育活動の充実につながった。運動会やリズム参観、そして初めて開催した「キラキラフェスティバル」はこどもも大人も楽しめる行事となった。</p>	<p>保護者と共につくる保育を大切に4者協議会で、保育で大切にしていきたいことや計画など話しあうことができた。保護者アンケートから保育園の課題を明確にし、改善につなげたことは良かった。</p>
健康及び安全	<p>3本柱の身体づくりに取り組んできたことで、今年度も大きなケガがなく、念の為の受診1件のみであった。山登りや川遊びなど、自然の中であそぶことで体力向上につながっている。</p> <p>施設点検については、保護者と共に実施することで、幅広い視点での確認につながった。健康面では、胃腸炎の感染症が乳児で流行し、保健所の立ち入りがあり、ご指導いただいた。コロナやインフルエンザの発症事例はあったが、大きな感染拡大にはならなかった。</p>	<p>安全計画に基づき、職員・保護者と施設点検を実施した。危険箇所は無いかな、更新すべき備品や修繕箇所などを確認することができた。また、保育内容の充実に伴い、こどもたちの身体の育ちや職員の安全意識が高まった。</p> <p>保護者の働く権利保障を踏まえ、保育を実施すると感染拡大につながるケースがあり防止は難しい。</p>
小学校 地域連携	<p>2023年度は、近隣の小学校との交流事業が開催でき、大きな行事開催も学校や施設を使わせていただくことができた。卒園児ボランティアの参加人数も増え、さらなる要望があることがわかった。実習生は3名受け入れ、未来の保育士養成に貢献できた。年間計画に基づき、地域の子育てサロンや文庫連絡会とも連携を図り、地域にとって必要な施設づくりに取り組んだ。マタニティーの会なども新たな企画を実施し、子育て支援につながる取り組みを実施した。</p>	<p>地域と連携し、子育て支援や小学校の引継ぎなども含め、学校を利用したことや就学前の学校たんけんにも参加でき良かった。</p> <p>地域連携では、担当者が中心となっている為、保育園全体で目的や内容も含め伝達意識を高めていく。養成校等との連携は充実につながっている。</p>
保育の 質の 向上	<p>園内研修では外部講師を依頼し、年間を通じて学びを実施した。さらに保護者と共に学びの場をつくりだすこともできた。日々の実践を夢かな会議（職員会議）や年4回のまとめの会議で保育実践を語り合い、学ぶ機会を持った。全国提案を複数行い、さらなる実践の振り返りを行った。行政や学校、団体などの要請を受け、講師派遣にも努めた。</p>	<p>園内研修・外部研修など、みんなで学ぶ機会を増やすことで、職員一人ひとりが語れるようになってきた。実践をまとめ提案する職員も増え、保育を語る力が育っている。語り合いの保育を継続していく。</p>
地域との 関わり	<p>近隣との関係づくりでは、日常的にご意見を聞かせていただき、こどもたちの保育を通じてプールあそびのお願いや収穫体験でのお土産、おもちのおすそ分けなど、交流する機会を設けることができた。入園見学は年間77組が来られ、丁寧な施設案内に努め、内18名が入園につながった。一時保育の利用も受け入れることで、子育て支援につながった。</p>	<p>こどもたちがご近所にご挨拶に行くことで、こどもたちの育ちや喜びにつながり、地域の方の理解にもつながっている。</p> <p>地域の子育て世帯の現状把握に向け、見学者や地域の子育てサロン等でアンケートを行い、地域の要求や現状把握につながった。人口推移なども含め地域のつながりを強化していく。</p>
その他	<p>第三者評価受審（4回目）に参加し、客観的な視点も含め、保育をふりかえることができた。</p>	<p>第三者評価では、副主任や専門リーダーを中心に参加したことで、人材育成にもつながった。結果に基づき、職員で共有し、よりよい保育園創りに向けて取り組んでいく。</p>